

## 【正論】「情報技術」でどこに向かうのか 大阪大学名誉教授・猪木武徳

いつの時代いづこの国でも、社会は常に難問と試練に直面し、どうにかこうにか切り抜けてきたのが実情であろう。突如襲って来る試練もあれば、気づかぬうちに徐々に進行する病弊もある。

現代社会も、情報通信技術（ICT）の急速な展開がもたらす監視社会の問題、自由と平等を掲げるデモクラシーにおける合意形成の綻（ほころ）びなど、向き合わねばならない難問は多い。

### ≪「バスに乗り遅れるな」≫

近年DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉をしばしば耳にする。情報通信技術でわれわれの生活をあらゆる面で利便性の高い方向に変化させる戦略を指す言葉として用いられる。

都市や地域社会がいかなる機能や構造を具（そな）えれば、日常生活が快適になるのかは技術的に興味深い課題であろう。ビジネス環境の激しい変化に対応するため、企業が個人情報の収集手段としてのデジタル技術に強い関心を示すのは当然であろう。生産性や競争力を高める新技術がもたらす効率性は、市場での熾烈（しれつ）な競争を大きく左右するからだ。社会全体としての長期的な視点からDX化を検討することが必要な中、政府各省庁は「バスに乗り遅れるな」と一直線にDX化路線をひた走っているように見える。

例えば都市生活にDX化が進むと、当然、「計画」や「デザイン」による上からの関連事業が増える。実際、「スマートシティ」プロジェクトではICTを軸に最高の利便性を目指す都市をデザインする事業が注目を浴びる。

「スマートシティ」構想は、「第5期科学技術基本計画」の中にも「超スマート社会の実現」として盛り込まれ、多くの地域で関連事業が検討されている。しかしすでに導入が始まっている諸外国では挫折しているケース（グーグルの計画した未来都市トロント）も報道されている。

管理者側が、センサー、ロボット、バイオテクノロジー、素材・ナノテクノロジーなど様々な新技術を用いて大量のデータを収集し、都市における人々の行動データを分析し、「最適な状態」を達成できるようにするという。しかしこうした社会を、どれ程の人々が望んでいるのだろうか。ここにはデモクラシーにおける合意形成の問題が存在する。

そうした社会状況（例えば監視されることによる自由の喪失）に対して拒否感が強く、なんとも住みにくそうだと感じる人もいるからだ。

### ≪自ら決定できるか否か≫

近代合理主義哲学の祖とみなされるデカルトは、「一人の建築家が平野の中で思いのままに設計した規則正しい街並みの方が、不規則に広がりながら膨張した町よりも美しく秩序だ

っている」という例を挙げながら、「理性による計画」の優位性を語った。しかし住人にとっての自由という点から考えると、デカルトの挙げる例は説得的とは言い難い。

こうしたデカルトの考えは、20世紀の社会主義計画経済の発想に繋（つな）がると看破したハイエクの指摘は正しかったと言わざるを得ない。

他方、DX化とは異なる方向からの「まちづくり」のアプローチもある。その代表例として筆者が最近知ったのは、NPO法人プラス・アーツ理事長の永田宏和氏らが進めてきた「地域豊穡（ほうじょう）化」のまちづくり活動だ。それは「技術による上からの最適化」ではない。計画は常に不完全であるからこそ、住民が不完全性に内在する「自由の余白」へ参加しつつ、自分たちの求める豊かなまちづくりに取り組むという考え方だ。

いずれにしても、問われているのは、主人公であるべき住民が何をよしとするのかを、自ら決定できるか否かという自発性だ。

何らかの前提で理論的に「最適だ」と考えられるまちを「上から」指示するのではなく、住民に選択の余地がなければならない。「これもできる、あれもできる」という技術的な夢に隷従することになってはならない。自分たちの将来社会の姿を自発的に描かなければ、技術の単なる召使いになってしまう。

#### 《技術が自由を奪うことも》

科学技術の急速な進展は、生活におけるわれわれの身体的な負荷を驚くほど低下させた。楽に、早く、遠くへ、そして多くを成し遂げられるようになった。小さいが欲張りな人間は、とてつもない巨人に変身したのである。

だがこの変身は、人間の内部・外部にさまざまな空隙とキシミを生み出し、われわれはその痛みが何かによって癒やされることを強く求めているように見える。

科学・技術の個別の分野での発見や革新は、必ずしもそのまま社会進歩を意味するわけではない。技術は、時に人間を自由にすることができるが、人間から自由を奪うこともあり得る。

スマートフォンの画面を見つめ続け、自分以外の存在への関心と考えを異にする他者との共存の意思を失うことは、決して文明への道を歩んでいることにはならないのだ。

（いのき たけのり）